



つもりっこ

令和5年2月17日
第20号
益城町立津森小学校

学力テスト結果

昨年12月1日、2日に実施した学力テストの結果が学校に届きました。学校では毎年1、2年生は国語と算数の2教科、3年生以上は国語、算数、理科、社会の4教科を行っています。3年生以上の国語と算数は、熊本県学力・学習状況調査と呼ばれるテストで、県内のほとんどの学校の子どもたちが受けています。このテストは、冊子形式で問題も多く出題範囲も広いので形式に慣れていないと難しく感じた子どももいたかもしれません。最近学習した内容ばかりでなく、1学期に学習した内容や前の学年で学習した内容も含まれるので、子どもたちが学んだことをきちんと身につけていっているか判断する材料となります。各担任は、学級の子どもたちの定着が十分でない内容や課題のある領域などを確認し、今後の指導に生かすとともに、次の学年に積み残しがないよう学年末の復習を行っていきます。学級の結果だけではなく個人の結果も届いていますが、個人の結果については、3月1日に予定しています学級懇談の折に説明して配布することになっています。

♪アウトリーチコンサート♪



2月8日(水)、3・4年生を対象にアウトリーチコンサートがありました。アウトリーチコンサートは県立劇場が行っている芸術家派遣事業で、毎年、プロの演奏家が来校し本物の音楽を届けてくれます。昨年度は、日本の楽器「琴」の演奏でしたが、本年度は「オーボエ」の演奏でした。子どもたちは、オーボエを見るのは初めてで、その本物の音色に初めて触れて感激していたようです。流石はプロというような演奏で、時間もあっという間に過ぎました。演奏だけでなく、吹き口のリードの作り方の実演もあり、子どもたちは興味津々でのぞき込んでいました。



台湾台中市大甲区との友好交流協定

新聞の報道等でご存じの方も多いかと思いますが、この度、益城町と台湾の台中市大甲区が友好交流協定を締結しました。菊陽町に台湾の半導体製造会社TSMCの工場が建設されることを受け県全体で台湾との交流が盛んになる中、益城町も協定を結んだこととなります。その大甲区は、ご承知のとおり津森出身の志賀哲太郎先生が「大甲の聖人」して祀られている地区です。今後、本校と現地の学校との交流を含め、官民合わせた様々な分野での交流が盛んになっていく見通しです。



